

学校給食

基本方針

- 学校給食の教育的意義とその役割を正しく認識するように努める
- 給食指導が健康指導、生活指導につながった活動や指導の場となるよう努める
- 楽しい学校給食の実施と食事内容の充実を図り、給食器具等の整備を図るとともに給食関係職員の健康安全管理と資質の向上に努める

学校給食実施状況

【小学校】

単独校調理方式による完全給食を実施している。

平成13年度より三重北小・八郷西小の2校、平成16年度より小山田小・高花平小の2校でなかよし給食（親子方式）を実施している。また、平成20年1月より調理業務民間委託を実施し、平成29年度末現在、合計13校で実施している。

米飯給食は、昭和52年度から開始して、昭和56年6月から週2回、平成14年度から週2.5回、平成24年10月から週3回実施している。

副食には、旬のもの、出来るだけ地場産物を使用し、日本の伝統料理や郷土料理を取り入れている。また、通常の給食以外に外で食べる弁当メニュー給食や全国学校給食週間メニュー、6年生を対象にした卒業祝膳会のセレクト給食等、特色ある学校給食を実施している。

平成8年「病原性大腸菌O157」による食中毒事故が全国各地で起こり、大きな被害をもたらされた。それにとまない当市も学校給食の衛生管理を根本から見直すことになり、調理員の意識改革、食材料配送の見直し、機械器具の充実や給食室の改修を進めている。

【中学校】

昭和40年度から楠中以外の21校でミルク給食を実施していた。

中学校給食制度については、そのあり方について検討を重ねてきたが、平成20年11月より、デリバリー方式による給食を中部中・山手中・三重平中・大池中・三滝中の5校で先行的に実施し、その他の16校（楠中を除く）は平成22年1月より、楠中は平成24年4月より、デリバリー方式による給食を実施した。

中学校給食については、成長期にある中学生によりふさわしい給食を提供するとともに、給食を通じて食育や地産地消を推進するため、全員喫食を前提とした食缶方式の導入をめざし、平成30年12月に「四日市市中学校給食基本構想・基本計画」を策定した。今後は、センター方式により、令和5年4月の供用開始に向け、取り組みを進める。

衛生管理

食品の衛生管理は、子どもの健康ひいては生命にかかわるものだけに、食中毒・赤痢等の発生防止には平成8年に衛生基準も見直し、未然防止に更に努力している。給食従事者は毎月2回、検便による赤痢菌やO157等の培養検査の実施、関係者の衛生講習会の開催、その他保健所衛生監視員による衛生検査の実施等を行っている。

令和元年度			令和元年度	
区分	小学校	中学校	調理員数内訳	
実施校数	37校	22校	正職	36人
対象人員	15,865人	7,871人	再任用職	2人
年実施予定回数	187回	180回	パート	93人
給食費	高学年	月額4,600円	民間委託	119人
	低学年	月額4,400円		1食300円

令和元年度			
小学校給食費内訳（低・高平均）			
主食	パン	57円00銭	主食平均 60円21銭
	米飯	63円43銭	
牛乳		51円73銭	
副食	パン	153円16銭	副食平均 149円95銭
	米飯	146円74銭	
1食当たり		261円90銭	

学校給食の変遷

小学校給食

年 月	給食費 (月額)		週回数	摘 要
	低学年	高学年		
昭和22年 1月	5円		2回	} 補助給食 (味噌汁給食)
5月	7		2	
7月	10		2	
10月	20		2	
11月	40		2	
23年 4月	40		4	週4回脱脂ミルク (12校実施)
26年 2月	150		5	完全給食開始
27年 4月	200		5	調理員市雇用
30年 4月	280		5	
32年 4月	330		5	
37年 4月	420	480	5	
40年 4月	550	600	5	
42年 6月	650	700	5	
44年10月	800	850	5	10月から牛乳に切替え (180cc)
45年 4月	950	1,000	5	4月から乳量の変更 (200cc)
46年10月	1,060	1,110	5	9月からパンの多様化
48年 7月	1,400	1,460	5	
49年 5月	1,800	1,870	5	
11月	1,920	2,000	5	
51年 5月	2,300	2,400	5	
53年10月	2,500	2,630	5	54年4月から週1回米飯実施
56年 5月	2,850	3,000	5	6月から週2回米飯実施
59年 6月	3,050	3,200	5	
63年 7月	〃	〃	5	四日市市学校給食問題検討会発足
平成 元年 4月	〃	〃	5	消費税の導入
2年10月	〃	〃	5	四日市市学校給食問題検討会専門委員会発足 (~3年11月)
11月	〃	〃	5	弁当メニュー給食実施 (野外給食・花見給食等)
3年 3月	〃	〃	5	祝膳セレクト給食の試行
10月	3,350	3,500	5	給食費7年3ヶ月ぶりに値上げ (消費税分も含む)
5年 3月	〃	〃	5	祝膳セレクト給食の開始実施
5月	〃	〃	5	焼き物機導入
8年 4月	3,650	3,800	5	万古焼「給食器」をランチルームに導入
9年 4月	〃	〃	5	消費税5%に改定
13年 4月	〃	〃	5	塩浜小・三浜小でなかよし給食 (親子方式) 開始
14年 1月	〃	〃	5	三重北小・八郷西小でなかよし給食 (親子方式) 開始
4月	〃	〃	5	全小学校の給食費を四日市市学校給食協会が一括管理する。 米飯給食週2.5回実施
15年 3月	3,650	3,800		米飯学校給食環境整備支援事業により強化磁器の小皿を全校に配付
16年 9月	〃	〃		小山田小・高花平小でなかよし給食 (親子方式) 開始

年	月	給食費（月額）		週回数	摘 要
		低学年	高学年		
17年	2月	3,650	3,800	5	楠小学校も市町村合併に伴い統一献立実施
18年	4月	〃	〃	5	楠小学校の給食費も四日市市学校給食協会が一括管理する。
20年	1月	〃	〃	5	中部西小・大谷台小で調理業務民間委託の開始
20年	9月	〃	〃	5	富田小・八郷小で調理業務民間委託の開始
21年	4月	4,100	4,300	5	給食費17年6ヶ月ぶりに値上げ（消費税分も含む）
					内部小・羽津北小で調理業務民間委託の開始
22年	1月	〃	〃	5	常磐小・川島小・内部東小で調理業務民間委託の開始
23年	1月	〃	〃	5	海蔵小・日永小・桜小で調理業務民間委託の開始
24年	3月	〃	〃	5	楠学校給食共同調理場の廃止に伴い、楠小・楠中の共同調理場方式の給食廃止
24年	4月	〃	〃	5	楠小で単独調理場方式の給食開始
24年	10月	〃	〃	5	週3回米飯実施
25年	1月	〃	〃	5	常磐西小で調理業務民間委託の開始
26年	3月	〃	〃	5	塩浜小・三浜小のなかよし給食（親子方式）廃止
	4月	〃	〃	5	消費税8%に改定
29年	4月	4,400	4,600	5	給食費8年ぶりに値上げ（消費税分も含む）

中学校給食（ミルク給食）

昭和40年	4月	350円（年額3,850円）	全中学校ミルク給食開始
56年	5月	358円（年額4,000円）	
59年	6月	391円（年額4,300円）	
平成21年	12月		デリバリー方式の給食開始に伴い全中学校ミルク給食廃止

中学校給食（デリバリー方式）

平成20年	11月	1食300円	中部中・山手中・三滝中・大池中・三重平中でデリバリー方式の給食開始
平成22年	1月	〃	橋北中、港中、塩浜中、富洲原中、富田中、笹川中、南中、西陵中、朝明中、保々中、常磐中、西笹川中、羽津中、西朝明中、桜中、内部中でデリバリー方式の給食開始
平成24年	4月	〃	楠中学校でデリバリー方式の給食開始